

沖縄大交易会システム概要

沖縄大交易会のシステムは5つのシステムから構成されています。それぞれが独立したシステムになっております。

システム名	システム機能
ビジネスマッチングシステム（BMS）	<p>大交易会の根幹機能となっております。毎年、サプライヤー、バイヤーの企業情報をはじめ、サプライヤーの出展商品情報が登録、格納されています。</p> <p>出展商品情報は、日本語から英語、中国語への翻訳された商品情報も格納されてます。</p> <p>また、大交易会の商談会に向けて、サプライヤー、バイヤー間の商談希望情報の登録も行います。商談希望情報を他マッチングシステムに情報を提供して処理を行います。</p> <p>コロナの影響で、リアル商談会、オンライン商談会が開催されてます。</p> <p>現在のBMSは年次繰り越し時にデータの初期化を行っているため、サプライヤー、バイヤーは、企業情報などを新規にデータ入力を行わなければならない状況です。今後、企業情報、商品情報の継続化を予定しております。</p>
ビジネスマッチングオンライン（BMO）	<p>昨年、コロナの影響で、急遽作成したオンライン上で商談会を開催するシステムです。</p> <p>オンラインは、Microsoft Teamsの機能を活用したオンライン上での商談会です。</p> <p>BMSで登録した商談希望情報をもとに、マッチングシステムから、日程調整を行い、Microsoftに紐づけしたTermsを活用してオンライン上で開催します。</p>
マッチングシステム	<p>BMSから商談希望情報および過去の大交易会の情報からサプライヤーとバイヤーとのビジネスマッチング情報を生成します。 マッチング情報をBMS、BMOの提供します。</p>
アンケートシステム	<p>大交易会の商談結果や商談状況について、サプライヤー、バイヤーに対してアンケート集計システムです。</p> <p>また、大交易会中の商談成約、大交易会終了後、商談成立についてアンケート調査、集計を行います。</p>
統合データベース	<p>BMSのサプライヤー、バイヤー管理を年代別にデータベースとして管理してます。</p> <p>また、アンケートシステムのデータに対しては、BMSと同じデータベースに格納しております。</p>